

7 千住宿 ~ 草加宿

東京都足立区
梅島 ~ 竹の塚
 (歩行距離 1721m 22分)
<http://nikko-kaido.jp/>
<http://JZE00512@nifty.ne.jp>



増田橋
 見沼代用水を水源とする用水で赤山街道に沿って南側を千住堀、北側を竹の塚堀が流れていた。千住堀はこの交差点で道なりに曲がり、日光街道の西側を下る。竹の塚堀は日光街道を横断し、一部はそのまま東に、残りは街道の東側を南に下る。街道を横断する竹の塚堀にかかっていたのが増田橋であった。交差点の東南角には「北へ旧日光道中西へ旧赤山道」と刻まれた碑がある。

番所
 江戸時代、重要な地点に番所がおかれた。交通の要所に設置され、通行人や荷物、船舶などを検査・徴税をおこなった。主要な関所の近くには遠見番所が設けられた。江戸城の城門に設置された御門番所、武家地の警備に辻番所。両国橋などの橋には橋番所、町には戸番所、自身番所などがあつた。ほかに口留番所・境目番所などがあつた。

六月(むつき)の地名
 伝説には源義家が当地の土豪と苦戦の末に辛勝したのが酷暑の六月であったからという(旧暦の六月は炎暑の候である)。「梅田・島根・六月村・保木間村・此辺多く秋葵を田圃に栽(うえ)置けり、長(た)けし甚短し。花盛りなり。何故にかくは矮短(わいたん)なり」と問へば、幾度も刈取て紙を抄(す)くねりに用ふと土人のいへり(日光駅程見聞雑記)。「...梅田 島根 六月村に來たりて小休み 梅田村よりこれまで一里 ここを弥五郎新田とて...」(上野下野道の記)

3 六月一里塚

日本橋から3里の一里塚。何の痕跡もない。鷲神社前交差点を過ぎた所と推定。六月1丁目南端。「日光海道の左右に對して築けり。塚上に榎を植置けり」と風土記にある。



島根鷲神社
 古代の海岸線とされる所があり、御祭神が船で当地に着かれたという伝承から浮島明神とも称された。文保2年(1318)創建。島根村は徳川將軍家の鷹狩場であったことから、歴代將軍の参詣があつた。3代將軍家光のお手植えという松があつたが、天保年間(1830~1845)惜しくも枯れてしまったと伝わる。また、8代將軍吉宗は、当社にあつた寺子屋で、手習い教本に幕府の諸法度集が用いられているのを見て、祠堂に褒美を賜つたという。神楽殿、藤塚、將軍石があります。

竹の塚2
 中華宝来
 竹の塚3
 竹の塚医院
 保木間小
 プロメフィットリンク

増田橋立場 千住宿と次の草加宿のほぼ中間にあたり、行き交う旅人が足を休める立場として賑わった。「水を売る茶屋あり」(五海道中細見案内)

増田橋交差点

増田橋
 見沼代用水を水源とする用水で赤山街道に沿って南側を千住堀、北側を竹の塚堀が流れていた。千住堀はこの交差点で道なりに曲がり、日光街道の西側を下る。竹の塚堀は日光街道を横断し、一部はそのまま東に、残りは街道の東側を南に下る。街道を横断する竹の塚堀にかかっていたのが増田橋であった。交差点の東南角には「北へ旧日光道中西へ旧赤山道」と刻まれた碑がある。

coffee time

番所
 江戸時代、重要な地点に番所がおかれた。交通の要所に設置され、通行人や荷物、船舶などを検査・徴税をおこなった。主要な関所の近くには遠見番所が設けられた。江戸城の城門に設置された御門番所、武家地の警備に辻番所。両国橋などの橋には橋番所、町には戸番所、自身番所などがあつた。ほかに口留番所・境目番所などがあつた。

coffee time

茶屋
 茶屋は休憩所として、場所に応じて注文に応じて茶や和菓子や飲み物を出して發達しました。水茶屋、掛け茶屋といひ、交通手段が徒歩に限られていたので、宿場や峠の前後の街道筋にあつた。立場にあつた茶屋と呼ばれた。お茶の葉を売る店を茶屋といひ、

coffee time

御成橋跡
 2代將軍秀忠、3代將軍家光が鷹狩りの立ち寄りとして御成門が設けられた。2代將軍が安堵のために渡つた橋の跡と御成道松並木跡。

島根の由来
 古くは島畑村とよび、島畑とは水田の中に点在する畑のこと。また、文字通り、島、といつか微高地の根っこ。水際のこと。

大正新道
 記念碑? 大正時代に、低湿地に新道がつくられた。

東武鉄道西新井駅
 弘法大師ゆかりの地。全国行脚(あんぎゃ)中の大師が悪疫流行の難儀を聞いて、護摩祈禱(ごまきとう)をして厄避けを行なつた故事から伝説を生み、その中に十一面観音像を刻んで建てた堂の西側から清水が湧き出て、井戸となつたという説が地名の由来です。鎌倉、室町、江戸時代と発展し、明治の町村合併でも知名度で村名となり、駅名にも命名されました。